

2022年2月25日

各位

不動産投資信託証券発行者
スターアジア不動産投資法人
代表者名 執行役員 加藤 篤志
(コード番号 3468)

資産運用会社
スターアジア投資顧問株式会社
代表者名 代表取締役社長 加藤 篤志
問合せ先
取締役兼財務管理部長 菅野 顕子
TEL: 03-5425-1340

メザニンローン債権の償還に関するお知らせ

スターアジア不動産投資法人（以下「本投資法人」といいます。）は、2018年12月20日付「メザニンローン債権への投資決定に係るお知らせ-国内資産（スターアジア・メザニンローン債権投資シリーズ3（C号受益権））の取得-」にて公表しましたとおり、メザニンローン債権投資としてC号受益権（以下「本C号受益権」といいます。）を保有していましたが、今般、本投資法人が保有していた本C号受益権の全額が償還されましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、この償還により、本投資法人がこれまでに投資を実行した6本のメザニンローン債権のうち、4本が償還されたこととなります。

記

1. 本C号受益権の概要

本C号受益権は、The Royal Garden Residence 白金台を主たる信託財産とする信託受益権（以下「本担保資産」といいます。）を担保資産とするCHK合同会社（以下「本合同会社」といいます。）に対する貸付債権（ノンリコースローン）を原ローンとし、原ローン貸付債権を信託財産とする信託に係る劣後部分の受益権です。本投資法人は、元本返済の確実性が高く、また、投資対象の多様化をもたらすとともに自己資金の有効活用として配当収入（基準金利+5%）が得られ、分配可能利益を押し上げる効果が期待できるという判断から、2018年12月26日に本C号受益権を126百万円で取得し、保有を継続していました。

<本C号受益権のストラクチャーの概要（2018年12月20日時点）>
 営業者：本合同会社

本合同会社		信託受託者 新生信託銀行	
本担保資産 The Royal Garden Residence 白金台 鑑定評価額 1,850百万円 (注1)	【借入】 ノンリコース ローン 約1,207 百万円	【貸付】 ノンリコ ースロー ン 約1,207 百万円	(A号ABL貸付人) 約781百万円 新生銀行
	(エクイティ) 匿名組合 出資等		(B号ABL貸付人) 約300百万円 新生銀行 (本C号受益権) 126百万円 本投資法人(注2) (D号受益権) 約0.01百万円 新生銀行

(注1) 2018年12月1日を価格時点とした鑑定評価額です。

(注2) 2018年12月26日付で株式会社新生銀行より本C号受益権を取得しました。

本C号受益権の詳細につきましては、2018年12月20日付「メザニンローン債権への投資決定に係るお知らせ—国内資産（スターアジア・メザニンローン債権投資シリーズ3（C号受益権））の取得—」をご参照ください。

2. 本C号受益権の償還

本合同会社による本担保資産の売却に伴い、原ローンの借入人たる本合同会社から原ローン貸付債権を信託財産とする信託に係る信託受託者へ、当該原ローンの全額につき期限前弁済が実行されました。この期限前弁済により、本投資法人は、原ローン貸付債権を信託財産とする信託に係る信託受託者から、本C号受益権の全額の償還を受け、併せて、本C号受益権にかかる経過利息の合計金額を受領しました。

3. 今後の見通し

本C号受益権の償還が運用状況に与える影響は現在精査中です。2022年7月期（2022年2月1日～2022年7月31日）及び2023年1月期（2022年8月1日～2023年1月31日）の運用状況の予想は、2022年3月16日公表予定の「2022年1月期 決算短信（REIT）」にて公表します。

4. その他投資者が当該情報を適切に理解・判断するために必要な事項

メザニンローン債権への投資に係るリスクに関して、2021年10月26日に提出した有価証券報告書「第一部 ファンド情報/第1ファンドの状況/3 投資リスク」に記載の内容に変更はありません。

本投資法人は、今後も投資主利益の最大化に資するアクティブマネジメントの一環として、投資対象の多様化をもたらすとともに、自己資金の有効活用として配当収入が得られ、分配可能利益を押し上げる効果が期待できるメザニンローン債権への投資を、継続して検討してまいります。

以上

* 本投資法人のホームページアドレス：<http://starasia-reit.com>